

令和5年度

第1回 中学校在り方検討委員会会議録

令和5年11月17日

龍郷町教育委員会

## 令和5年度 第1回検討委員会会議録

日 時 令和5年11月17日（金）15：30～16：50

場 所 りゅうがく館研修室

### 出席委員

- ・ 教育長
- ・ 3 中学校 P T A 会長
- ・ 3 中学校区議員代表
- ・ 議会議員代表
- ・ 教育委員会事務局
- ・ 3 中学校長
- ・ 3 中学校区区長代表
- ・ 教育委員会教育委員

## 会 議 要 旨

### 1. 開 会

#### ◎事務局

第1回龍郷町立中学校在り方検討委員会を開催いたします。  
初めに委嘱状を交付します。

～各委員へ委嘱状を交付～

続きまして、龍郷町教育委員会教育長がご挨拶をいたします。

#### ◎碓山教育長

17名の委員の皆様お疲れさまです。この検討委員会の委員を引き受けていただきまして感謝いたします。今回が第1回目の中学校在り方検討委員会となりますので、経緯について簡単に説明いたします。7・8年前になりますが、議会の中で子どもたちの学習環境を充実させてほしいとの話があり、その中で統合も含めた検討が必要ではないかとの話になりました。その当時は秋名小学校の児童数が増える傾向にあったため、時期尚早ではないかとの結論に至っております。ところが近年、秋名小の児童が町外への転出や、近隣市へ区域外就学をする事例が多くなってきており、中学校で複式という学級編成をせざるを得ない状況となってきました。このような状況では、教職員の配置も十分に果たせないような状況です。そのため教育委員会でアンケートを実施し、今現在地域の方々が中学校の今後についてどのような考えがあるのか、調査結果がまとまりましたので、今後の町内の中学校をどうしたらいいのか検討していただきたく組織した次第であります。今後、議論を重ねて設置者である町長へこの検討委員会の意見として、報告をしたいと考えておりますのでよろしくお願いします。

#### ◎事務局

それでは、さっそく協議に入りますが、本検討委員会の会議は教育長が議長となり進めることとなっておりますので、教育長よりよろしくお願いします。

#### ◎議長

協議に入る。まず本検討委員会の規約について事務局より説明を求める。

～規約について資料に基づき説明～

#### ◎議長

次に、アンケート調査の結果について、事務局より内容説明を求める。

～アンケート調査の結果について資料に基づき説明～

◎議長

これまでの規約やアンケート調査の結果についての事務局の説明に対して、意見や質問はないか。また、この場は自由意見の場とする。

○A委員

アンケート調査の結果だが、全世帯ではなく親世代の詳しい結果はないか。

◎事務局

現在、親世代の集計はされてないので、別途集計し改めて提示する。

○B委員

同じく全体ではなく、校区ごとの結果が知りたい。特に赤徳小校区がどのような意見を持っているか。

◎事務局

先ほどと同様に集計がされていないため、小学校区ごとに集計し、改めて提示する。

○C委員

生徒の意見というのは何か聞いているのか。

◎事務局

このアンケートは世帯への調査であるため聞いていない。今後、学校を通じて意向を調査してもらうこととしている。

○D委員

秋名小学校高学年の児童と話をする機会があったが、龍北中に進学するのかと聞いたところ、部活動をやりたいから、できれば他の学校に行きたいとの話をしていた。保護者にしても、子供たちの将来のことを考えると悩んでいるようだ。

○E委員

以前、龍郷小に勤務していたが本来であれば龍北中に通うべき児童が、どうしてもやりたい部活動があり、高校でも続けたいからその部活動がある学校に進学したいとして相談され、保護者を交えて協議を行い、その児童の希望する学校へ進学させることとなった。結果、その子は今もその部活動を続けて活躍しているときいている。やはり部活動だけでなく、たくさんの生徒がいる学校でもまれることも大事ではないか。

○F委員

龍北中の部活動の状況を考えると、子ども達には大変心苦しいものがある。ただ、小規模校でしか対応できない子がいるのも事実だ。

○G委員

小学生の野球を指導しているが、野球が面白くなってきて奄美市の中学校で野球をしたいと進学した子供もいる。町内の中学校が一つで部活動の選択肢があればこのようなことも防げたのではないか。やはり一つの学校で一学年二クラスとしてクラス替えをして交流を深め、部活動の選択肢が増えるようなことが、子どもたちにとって大事ではないか。

◎議長

三校一緒にという話が出たが、やはり子供たちもそうだが、保護者にしても気になるのが部活動の選択肢が少ないことだと思う。数年前から合同チームの容認や

今後、部活動の地域移行が進んで行くことになるが、部活動の時だけ集まるのではなく、普段から一緒に過ごしている仲間と一緒に部活動をすることが意識を高めるためにも必要だと感じる。もちろん小規模校には小規模校のよさもあるが、これから龍郷町を背負っていく子供たちのことを考えると、どのような環境を作っていくことが大事なのか、ということを考えなければならないと感じる。

○H委員

実際に悩んでいる保護者がいる。このまま龍北中に通わせていいのか、子どもは通いたいと思っているのか、別の学校に行くことで、集落のひとたちからどう思われるのかなど、その中で子供の将来を一番に考えたときに、今年度も別の学校に進学した子供がいる。やはりこのようなことを考えると、生徒が大勢いる環境が必要ではないか。

○F委員

この中学生、10年先20年先を考えた時、人の少ない環境から大勢の中に入った時に、環境になじめないようなことがあってはいけない。やはり大勢の中でもまれ意見を交わせる環境が大事ではないか。

○G委員

龍北中に伺ったときに、生徒と教師が一对一で授業をしている姿に衝撃を受けた。一对一だと授業中にどちらも気を抜ける場面がないのではないかと感じたし、子供たちが授業の中で意見を交わすことがないのではないかと、疑問に感じた。

○H委員

中学校の在り方を検討しているが、小学校の統合というものは将来的に考えているのか。

◎議長

小学校の統合は考えていない。町長にしても同意見である。

○I委員

アンケートの回答率が35.6%となっているが、この数字で有効と考えているのか。他に子供たちの意見が一番大事だと思うが。

◎事務局

このアンケートについては、このような議論の場を設けるための一資料と考えている。これから皆さんに地域に戻っていただいて、いろいろな意見を拾っていただきたい、そしてこの場で議論をしていただきたい。

○J委員

校長として話をする。現在3年生は1クラス39名で狭い教室で授業を行っている。2年生は45名のため2クラス、1年生は36名で1クラスだ。2クラスの方がこどもたちへの目の届き方も違って来るし、人数が多すぎるために圧迫感を感じる子どももいる。やはりそういう環境を考えると、生徒が増えて2クラス編制ができるような環境が望ましいと考える。また、赤徳出身だが、小学校中学校の間、メンバーがほとんど変わらない。高校に入学した時に知らない人とコミュニケーションをとるということでは、大変苦労した思いがある。

◎議長

赤徳小中が校での勤務経験がある。確かに小中9年間をかけて子供たちを育てるというやりがいもあるが、小学6年生に自立心が生まれえないのも事実である。中学生が同じ学校内であることで、頼ってしまう面がある。

○H委員

アンケートの意見の中で、「町としても、もっとやれることがあるのでは」などの意見もあるが、空き家再生とか、Iターンを取り込む施策を行ってもらっている。しかし保護者も、小学校までは地元で通うが、先ほども申し上げたとおり、子どもたちのことを考えると、中学校からは別の選択をしてしまう方もいるので、今後、生徒数が増えるという見込みは少ないのではないかな。

○K委員

町内唯一の小中併設校だが、同じ校舎内に小学校と中学校がある。小中連携のよさとして、行事を合同で行ったりイベントを行ったりとメリットだと感じる。しかし、小学校も中学校も1学級である。話に上っているように同じ人間関係が続くことにより、狭い環境でのコミュニケーションの場が出来上がってしまう。個人的な思いであるが、たくさんの人な中でコミュニケーションを図ったり、切磋琢磨しあえる環境が必要ではないかな。

○L委員

資料の中で生徒数の推移があるが、仮に統合するととなると龍北中だけを統合しても、2クラス編制はできないのではないかな。今後のことを考えても統合をするのなのであれば、町内1中学校を目指すべきでないかな。

○N委員

集落の中でもいろいろな意見が出ていて、二分しているのが現状である。赤徳小中の場合9年間一緒に学校に通うことでいいという意見、部活動の選択肢を増やすために統合した方がいいという意見など様々です。

○M委員

仮に統合となった場合は、遠距離からの通学に関しては、バスなどの配慮はしてもらえるのか。

◎事務局

現在もスクールバスを一部で運行している。遠方からの通学となれば現行の運行体制である朝1便、夕方2便の体制とすべきと考える。具体的な事については今後の協議課題とする。

○P委員

スクールバスでの通学となった場合、朝の通学時間が早くなって生徒や保護者が負担になるのではないかな。

○H委員

登校時間が早くなる件だが、私の子供もスクールバスを利用するため、7時15分には学校についている。早く着くおかげで自習をしたり、清掃活動をしたりと、時間を有効に活用することができるようになってきている。保護者にしても送迎がなくなるので、それほど負担になるとは考えられないのではないかな。

◎事務局

現在も龍南中の戸口方面の生徒は朝7時に出発で、龍北中の安木屋場、円についても同時刻の出発になっている。いまのところ時間が早くて負担になっているとの話は聞いていない。今後協議課題とする。

○D委員

高校生になると、もっと早い時間のバスで通学しないといけなくなる。中学生とはいえ時間の制限があるとそこに対応してくるので、心配はなのではないか。

○ I 委員

通学に関してはバスの運行ができるものと考えながら、まだまだ議論する場が必要ではないかと考える。

◎議長（碓山教育長）

今後も、いろいろな意見を集約しながら検討会で議論を尽くしていきたいと考えている。他に意見はないか。なければ事務局より今後の会議の計画について説明を求める。

◎事務局

今後の会議についてですが、3 か月ごとに開催したいと考える。その間に学校区ごとに、児童生徒・保護者・教職員・地域の意見集約をお願いします。

◎議長（碓山教育長）

この件について意見はないか。なければ、第 1 回龍郷町立中学校在り方検討委員会を閉じる。 ご苦勞様でした。

令和5年度

第2回 中学校在り方検討委員会会議録

令和6年2月28日

龍郷町教育委員会



## 令和 5 年度 第 2 回検討委員会会議録

日 時 令和 6 年 2 月 2 8 日（水） 15：30～16：50

場 所 りゅうがく館多目的室

### 出席委員

- ・ 教育長
- ・ 3 中学校 P T A 会長
- ・ 3 中学校区議員代表
- ・ 議会議員代表
- ・ 教育委員会事務局
- ・ 3 中学校長
- ・ 3 中学校区区長代表
- ・ 教育委員会教育委員

## 会 議 要 旨

### 1. 開 会

#### ◎事務局

第2回龍郷町立中学校在り方検討委員会を開催いたします。

はじめに、龍郷町教育委員会教育長がご挨拶をいたします。

#### ◎教育長

委員の皆様こんにちは。昨年の11月に第1回目検討委員会を開きました。その中で、集落ごとや親世代の詳しいアンケート結果が知りたいとの話がありましたので、事務局より委員の皆様へ結果が届いていると思います。そのアンケート結果も踏まえながら第2回目の中学校在り方検討委員会を開催したいと思いますので、忌憚のないご意見をお願いしたいと思います。

#### ◎事務局

それでは、さっそく協議に入りますが、本検討委員会の会議は教育長が議長となり進めることとなっておりますので、教育長よろしくお願いします。

#### ◎議長

協議に入る。

協議1. 前回の検討委員会で中学校区ごとの様々な意見集約を依頼したが、その内容等について報告を求める。

#### ○A委員

前回の会議後に、中学校のPTA理事会にて議題とした。私の方から現在、検討委員会が開かれていること、アンケートの結果があること、PTA会長からは検討委員会での意見の様子などが報告され、その中では質問や意見が出ることはなく、職員からも生徒が増えることにより学級増が見込まれ、クラス編成が可能となるので良いのではないかと等の意見が出ている。学校現場の意見としては、特に反対もないような状況である。

#### ○B委員

学校評議委員会などで機会あるごとに話題とした。出席された方々も、中学校統合に係るメリット・デメリットは理解しているようだし、様々な意見が聞かれた。職員からは、龍北中学校の現状から小規模校で学ぶ生徒のことを考えるとやはり大規模校が良いのではないかと、反対に小規模校でしか対応できない生徒もいるのではないかと、などの意見も出ている。やはり個人個人によってメリット・デメリットを考えており難しい問題だと感じている。

○C委員

資料を配布してある。本校職員の意見として、統合することで生徒の数が増えて活気が出る。学習面でも意見交流が増える。生徒数が増えることで部活動の選択肢が増える。生徒間の人間関係の幅が出てよい。反対に、統合される場所によって通学時間による学習時間、部活動の時間に制限が出るのでは。大人数による生徒指導面への影響。地域行事との関わり方。などが出ており、メリットもたくさんあるが、デメリットや統合により課題も多くしっかりと解決しておくことが今後のために大切であるとの意見となっている。生徒の意見としても賛否両論であり、子どもたちにとっても大変難しい問題とを感じる。

◎議長

これまでの各校長からの報告、アンケート調査の結果、前回の議事録の内容なども踏まえて、意見や質問はないか。また、この場は自由意見の場とする。

○D委員

アンケート調査の結果だが、統合については賛成とあるが、1校にする、と2校にする、の振り分けはどういうことか。

◎事務局

1校とは、3校を統合してまとめるという質問で、2校というのは、龍北中のみを統合し、赤徳中は残すという質問である。

◎議長

併設校としての赤徳中学校のよさも承知している。メリットとして、小中9年間を通した指導方法の確立、デメリットとして、同じメンバーで9年間過ごすことにより人間関係が悪くなる子供が出てくることが懸念される。

○A委員

アンケートをとると、必ずメリット・デメリットが出てくると思うし、大規模校のいいところ、小規模校のいいところがあると思う。その中でたとえばだが、各学校の改修問題を考えると、町として小規模校に多額の費用をかけて改修することより、統合して一つの学校に予算をかける方がいろいろな効果があるなどの考えがあるのであればその方向に向かうかもしれないが、この状況では全保護者にアンケートをとっても、結論は出ないのではないか。

◎議長

以前にもそのようなご意見をいただいた。龍郷町の財政を考えるのなら、一つの中学校にして手厚い環境を作るべきではないかと。その当時は町内の児童生徒の数が増えていたり、中学校の学級数も3学級が維持できていた時期であったため、時期尚早であると回答している。現在は、環境も変わってきて中学校でも複式学級となっているところもあり、教員も専門以外の教科を担当することが出てきている。教員としても一生懸命指導をするが、やはり教科専門が指導する方が子供たちにとっても良いし、教員の校務分掌も複数抱えることになり負担が大きくな

っていく。そのようなことを考えると、中学校の複式は避けた方がいいと感じる。

○E 委員

先ほど出た改修の件だが、近い将来、龍北中の大規模改修も考えなくてはならない時期である。そういった状況で今後のことを考えるのならば、選択の一つとして、子どもたちのためによりよい教育環境を作っていけるような方法を考えていかなければならないのではいか。

○B 委員

大規模校で授業や生徒間でうまくいかに、小規模校に通い始めた生徒がうまくなじめるようになった事例もある。そのような事例も含めてあらゆる面から選択方法を考えていかなければならないと感じる。

○E 委員

たしかに特殊な事情により小規模校を望んで通っている生徒もいるし、転校してきた生徒もいる。しかし、大規模校に通いたいと思っている子どもはなかなかその意思を認めてもらえない状況もあり、家族ごと町外へ引っ越してしまうような事象も見受けられる。

○B 委員

本校の保護者は、子どもがやりたい部活動ができないのが一番の懸念材料となっているようだ。

○F 委員

時間設定として、どれぐらいの協議期間や統合までの時間が想定されているのか。

◎議長

これから、この検討委員会も協議を重ねていかなければならないが、早くて2年、令和8年4月が見込まれる。仮に、本年中に検討委員会の結論がでて、町長へ報告を行うとすると、7年度が様々な準備期間となる。

○F 委員

5年くらいかかるのかと考えていた。そうなってくると、直接影響を受けるのは今現在の小学生や未就学児なので、その保護者の意見も必要になってくるのではないか。ただ、人口の推移をみると現状の生徒数維持は難しいのかなと考えられる。

○G 委員

たしかにそうだが、今の子供たちの環境のことも考えなければならぬのではないか。

○E 委員

今年、自分の娘が高校に進学するが、地元の高校でも定員割れが続いているような状況である。今後も子どもの数が減少していくのは予想として出ている。町内各中学校においても、生徒数がどのように推移していくのか予想できないが、このままの中学校の数では、また5年後、10年後にこのような議論をすることになってくるのではないかと考える。

◎議長

大島地区の児童生徒数については減少傾向にある。昨年の県立高校募集定員の説明会でも大島高校の1クラス減は触れられていなかったが、今回1クラス減となっている。それでも定員に達していないような状況で、他の高校においても定員を確保できていない状況である。龍郷町内に限って話をすると、今のところ児童生徒数は増えている。中学生は6年度が183人、7年度175人、8年度210人、9年度203人、10年度222人の予想となっている。そのような状況で、中学校は1学年2学級であってほしい。クラス編成が行えることで子どもたちの交流や、親交の機会が増えてくると考える。

○G 委員

赤徳中の意見の中にもあるが、部活動がやりたくて龍南中へ転校する子どももいたし、町外の学校へ進学する子どもも見ている。そのようなことを考えると、今回の機会に統合ということを図っていかないと次の機会というのは見えてこないのではないかと。統合においてのデメリットは多々あると思うがそのデメリットについては、教育委員会と学校が連携して努力することで解消していったほしい。やはり1つの学校にすることのメリットが大きいのではないかと。

○H 委員

こういう統合問題は、どうしても賛成・反対の意見が出てくるものである。その中で、結論をいつまでに、どのように出すと考えているのか。

◎議長

スケジュール的には、この検討委員会を3回から4回開催して議論を深めたい。また、アンケートを再度行なってはという意見もあるので、その件も議論したうえで、3回目を令和6年5月頃、4回目を8月頃開催して、委員会としての意見をまとめて町長へ報告したいと考える。

○I 委員

前回のアンケート結果を見ると、赤徳校区のこれから中学に上がる子供世帯の意見で反対意見が多いように見えるが、せつかく地域に学校があるからとの考えなのかなと思われる。しかし、これからの生徒の将来のことを考えて長い目で見ると、この検討委員会の中で方向性を結論づけてもいいのではないかと。

○J 委員

荒波地区から中学校がなくなるということは、地元の住民からしたら大変な問題である。しかし、今後の小学校の卒業生の数を見ると、減少していく一方である。今年の小学校卒業生に話を聞いたら、やりたい部活動がないので、部活動をしたくないとのことであった。これからもこのような状況が続くし、数年後には同じような議論が出てくると思うので、今、そういう問題を議論する時期であり、結論を出す時期に来ているのではないかと感じる。

◎議長

この問題を先送りにすることはできないと考えてる。子供たちの将来、中学校の在り方、子どもたちにとってどういう形がいいのか、この委員会で方向性を出すべきと考える。

○E 委員

保護者から、奄美市の特認校制度で通っている児童生徒のバス賃の負担が大きくなっているとの記事を見て、学校はぜひまとめてほしいとの意見ではあるが、通学手段が心配であるとの相談があった。

◎議長

アンケートの中でも、バス通学に関する意見が相当数あった。基本的には現在もバス通学を実施しているので、今後についても対応は可能である。

○K 委員

メリット・デメリットという話が出たが、アンケートの結果を見ると賛成が多いように感じる。2校にするのか3校にするのかわからないが、統合の話はすすめていくべきではないかと考える。

○L 委員

地元の意見としては寂しいと感じるが、子どもたちのこれからのことを考えると、仕方のないことである。昔は生徒数も多くて様々な部活動や団体活動ができていた。生徒数が減ってきて切磋琢磨する機会が少なくなっているのかなと感じている。

○N 委員

1校とすることに賛成である。今後5年後、10年後にこのような会議を持たないといけないことになると思う。子どもたちの学業・部活動のことを思うと、いい機会ではないか。

◎議長

奄美市の大きな学校でも、部活動が単独チームでできない。赤徳は、笠利・田検との合同となっているが、どの市町村においても同じような状況である。生徒数が増えることで単独チームでの大会出場が可能となってくる。

○M委員

荒波地区出身なので、中学校がなくなることは寂しいことであるし、卒業生からしたら母校がなくなるのは大問題である。しかし現状を考えると授業も1対1で受けていて、どちらも気が休まる時間がないように見える。小規模校としてのよさもあるが、考えなければならない時期なのかなと思われるし、まとめるのであれば1校にすべきと考える。

○P委員

3校を1校にしていきたい。小規模校だと1教員が複数教科受けもたなければならず専門外を持つのは大変だし、生徒からしても専門の教員からの指導の方がいい効果が生まれてくるのではないかな。学校による文化の違いがあるが、新しい学校になったらそこで築いていけばいいと考える。

○Q委員

自分たちの時代は、龍南中学校は3学級ずつあったが、自分たちの代から2学級となっている。それでもまだ人数が多くて学校生活は充実していた。スポーツ面にしても文化面にしても生徒数が多い方がいろんな選択肢が増えていいのではないかと感じるので、一つにまとめた方がいいのではないかな。

○R委員

おそらくだが、今採決をとっても5回目に採決をとっても皆さんが持っている答えというのは一緒だと思う。委員の皆さんが納得できるような答えをもって町長へ報告できるようにすべきである。

○S委員

各学校区で説明会を開いてはどうか。

◎議長

この委員会での意見を町長へ報告して、方向性が決まってからの方が良いのではないかと考える。決まった方向性へのメリット・デメリットを丁寧に説明して納得してもらう方が混乱は少ないと考える。なお、先ほど出た小学生以下の保護者へのアンケートについては、実施するべきか。

○E委員

アンケートをとっても、賛成・反対の割合は前回の物と変わらないのではないかな。それよりもこの委員会での意見をしっかりとまとめた方がいい。

◎議長

今後も、いろいろな意見を集約しながら検討会で議論を尽くしていきたいと考えている。他に意見はないかな。なければ事務局より今後の会議の計画について説明を求める。

◎事務局

次回の会議についてですが、5月中旬に開催したいと考える。その間に委員各位の意見のまとめや地域の意見集約をお願いします。

◎議長

この件について意見はないか。なければ、第2回龍郷町立中学校在り方検討委員会を閉じる。 ご苦労様でした。



令和6年度

第3回 中学校在り方検討委員会会議録

令和6年7月3日

龍郷町教育委員会

## 令和6年度 第3回検討委員会会議録

日 時 令和6年7月3日（水）15：30～16：50

場 所 りゅうがく館多目的室

### 出席委員

- ・ 教育長
- ・ 3 中学校 P T A 会長
- ・ 3 中学校区議員代表
- ・ 議会議員代表
- ・ 教育委員会事務局
- ・ 3 中学校長
- ・ 3 中学校区区長代表
- ・ 教育委員会教育委員

## 会 議 要 旨

### 1. 開 会

#### ◎事務局

第3回龍郷町立中学校在り方検討委員会を開催いたします。

はじめに、龍郷町教育委員会教育長がご挨拶をいたします。

#### ◎教育長

委員の皆様こんにちは、3回目の検討委員会となります。本日は、これまでの検討委員会をふまえて、委員会として報告書へ記載する意見を取りまとめたいと考えております。事務局の方でこれまでの意見等を踏まえ概要をまとめてありますので、その内容についてご意見等を伺いたいと思います。

#### ◎事務局

それでは、さっそく協議に入りますが、本検討委員会の会議は教育長が議長となり進めることとなっておりますので、教育長よろしくお願いします。

#### ◎議長

協議に入る。

協議1. 報告書に関する意見の集約について。

お手元に、事務局がまとめた検討委員会としての報告書の案が配布されております。確認いただき意見を求める。

#### ○A委員

各学校のPTAや関係者への周知はどのように行っていくのか。

#### ◎事務局

検討委員会でまとめた意見を、町長へ報告書として提出いたします。その報告書を踏まえて、町長が方向性を決定しますので、それを受けた形で各中学校区において説明会を開催しようと考えているところです。

#### ◎議長

各中学校区では、今現在話題に上ることがあるのか。

#### ○B委員

なかなか話題になることはない。いろいろな集まりの中で話題にしてよいのかも判断に困っている。

○C委員

PTA 役員会などで話を出しているが、賛否については半々である。子どもたちに意見を聞いても同じような状況である。また、PTA 総会でも検討委員会が開催されている旨を報告したが、特段意見等は出ていない状況である。

○D委員

役員会でこのような検討委員会が開催されていることは報告している。それに関して反対の意見が出るようなことはない。

○E委員

龍南校区についてはアンケート調査が実施されていないため、保護者がこのような議論がされていることを知らないようである。役員会の中で話をして統廃合について議論が交わされていることを周知した方がいいのではとなっている。もっと、メリット・デメリットを具体的に出してもらいたい。

◎議長

龍北校区と赤徳校区はアンケート調査を実施したため、保護者の方たちも統合問題について認知していると考え。龍南校区についても何らかの周知が必要と考える。

○A委員

ある保護者が、他の校区の生徒が混じると子どもたちがコミュニケーションをとれるのか不安があると話していた。

◎議長

その件もデメリットの一つだと考えるが、龍進未来塾で3中学校の生徒が毎週一緒になって勉強をしたり、子ども博物学士講座・ミュージカルなどを通して小学生も中学生も交流があるため、コミュニケーションをとることに問題はないと考える。

○F委員

龍南中にも、戸口小・大勝小・龍瀬小・龍郷小から子供たちが集まってきている。子どもたちはそういう面に関してはすぐに対応できているので、問題はないのではないかと。

○G委員

集落役員会や様々な集まりの中で、話を出しているが特に大きな話題になることはない。

○H委員

龍北中の OB としては残してほしいと思うが、生徒数が少ない中学校に通うことに抵抗を持っている子どもや保護者がいるのも現実なので、統合も仕方がないことなのではないかと考える。

◎議長

やはり、小規模校には小規模校のよさがあり、大規模校には大規模この良さがある。今の子供たち、またこれからの子供たちのことを考えると、中学校生活をたくさんの友達と過ごせるほうがたくさんのメリットがあるのではないかと考える。

○I 委員

われわれは、今の子供たちが将来どうなっていきたいかを考えなければいけないと思う。いろいろな場面で自分が選択し進んでいけるように、今のうちから環境を作っていかなければならない。そのために中学校を一つにして、たくさんの生徒がたくさん触れ合って、意見を出せるような環境をつくるべきである。

◎議長

資料の中で、検討委員会の総括があるが、その件についてはこれまでの協議を踏まえた表現となっているが、意見はないか。

○J 委員

この総括意見については、問題ないと思う。

◎議長

小中併設校である赤徳校区では、この件についてどのような意見があるのか。

○K 委員

今のところ話題になることはない。

○L 委員

集落役員会でも検討会が開催されていることは話したが、大きな話題になることは今のところないが、賛否についてはわかれているようだ。

○M 委員

学校の意見としては、この報告書にまとめてある通りだと思う。小学校の児童にしても減少傾向にあり、それに伴って中学校の生徒数も減ってきている。やはり併設校のよさもあるが、クラス替えがないことで競争力の低下や新鮮味に欠ける部分があるのも事実である。やはりクラス替えができるようになるのが理想ではないかと考える。役員会の中でも話題にするが、意見としては賛否半々の状況であるし、子供たちの意見も半々である。

○N 委員

総括の意見のことで、統合することによるメリットを前面に打ち出した方が良

いのではないかと考える。

○P委員

小規模校の現状として個別の学びに対しては、十分な成果を上げているが、協働的な学びについては、生徒が学年に一人・二人しかいないとなると難しい面がある。それが解消できるのが大規模校のメリットと感じる。

龍北中には龍北中の、赤徳中には赤徳中の、龍南中には龍南中の、それぞれの学校にそれぞれの良さがあると思うが、それを生かした学校ができれば、子どもたちにとっても良いことではないかと感じる。

○Q委員

龍北中に2人の子供を通わせている。下の子どもには同窓生がいます。上の子どもには同窓生がいません。秋名に引っ越してきて数年になるが地域の方は大変良くしてくれている。そのような中で、地域の学校に通わせたいとの気持ちもあるが、娘たちが休みの日に遊ぶ友達がいないという現実を見ると、学校生活だけでなく日常生活の中でも寂しい思いをしている。小規模校から大規模校に通う不安はあると思うが、それ以上に得られるものがあるのではないかと考えられるので、前向きに進めていってほしいと思う。

◎議長

他に意見はないか。なければ今回の意見を改めて精査して、報告書へ盛り込んでいきたい。事務局より今後について説明を求める。

◎事務局

今回までの意見を参考に報告書を作成し、報告書案を郵送いたします。報告書案について書面にて承諾を得たうえで、正式な報告書として町長へ提出したいと考えております。

◎議長

事務局からの説明のとおりとしたいが意見はないか。

○委員

異議なし。

◎議長

意義がないようなので、報告書案については郵送にて承諾を得ることとする。その他に意見はないか。なければ、第3回龍郷町立中学校在り方検討委員会を閉じる。ご苦勞様でした。

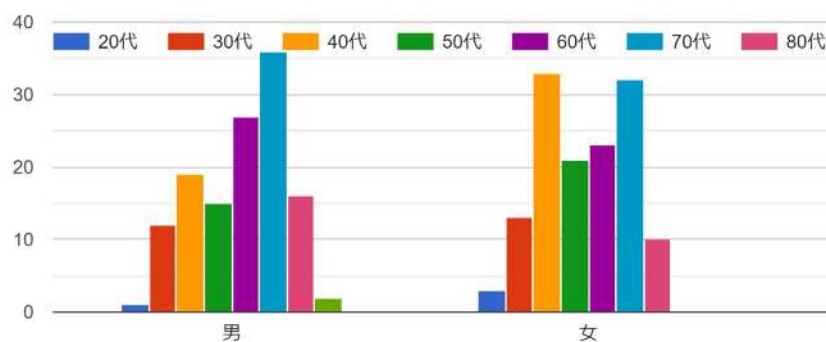
## 龍郷町の中学校の在り方に関するアンケート調査結果

1・1， 0 2 6 世帯中 3 6 6 世帯からの回答（回答率 3 5． 6 7 %）

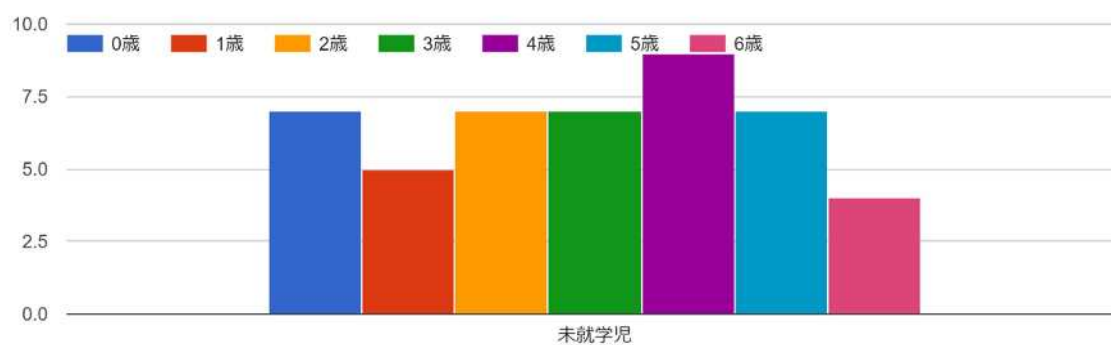
2・1 世帯に 1 枚配布し、代表で回答している

3・各数値は 1 0 0 %にならない場合がある。

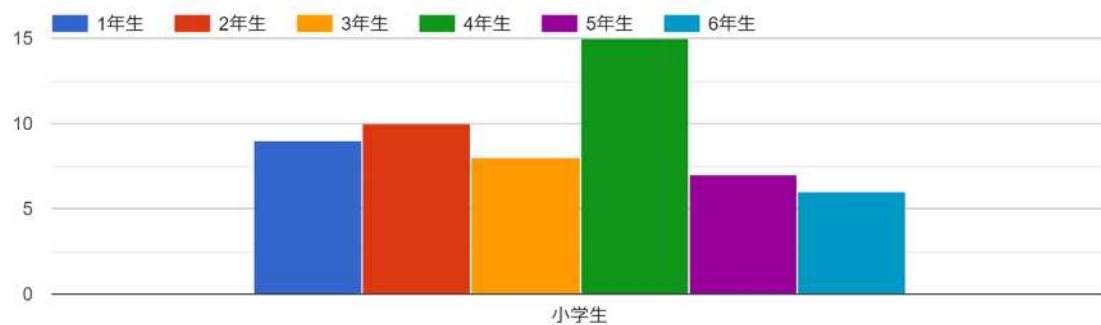
### （1）記入者の性別（質問 1）



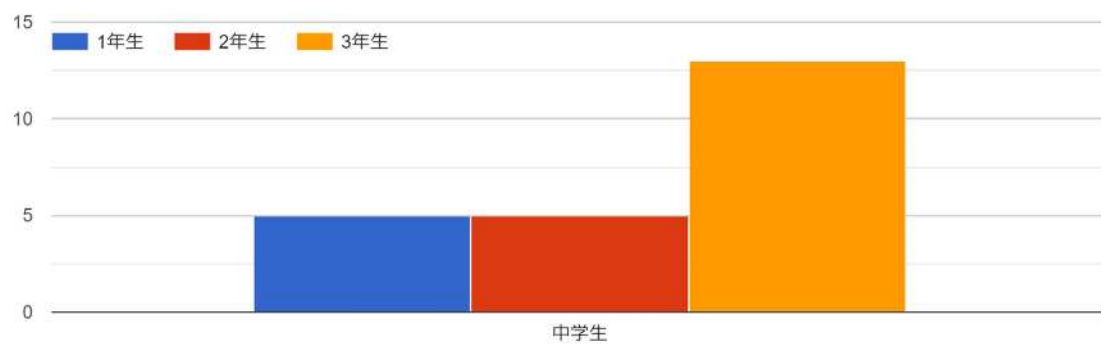
### お子様の該当する箇所（質問 2）



お子様の該当する箇所

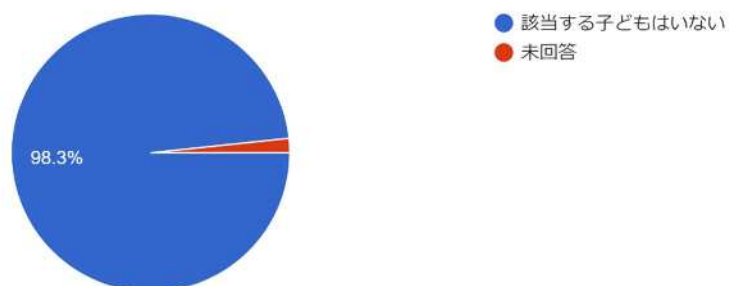


お子様の該当する箇所



お子様の該当する箇所

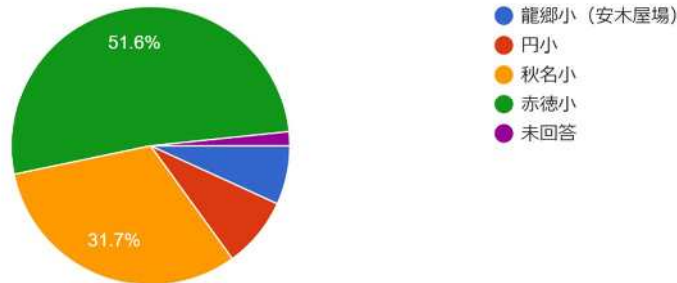
299 件の回答





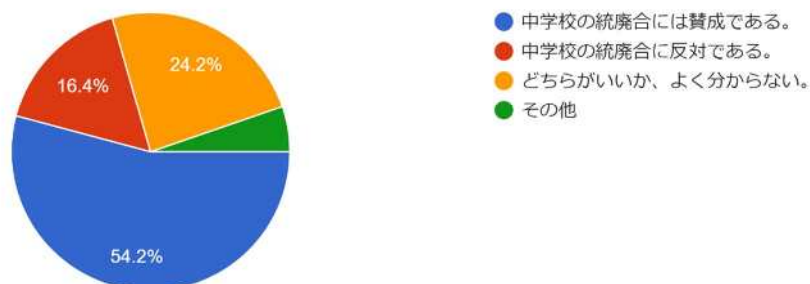
あなたが住んでいる小学校区はどこですか？（質問 3）

366 件の回答



中学生の成長・発達のために一定の人数が必要なこ...ら統廃合もやむを得ないと思うか、思わないか。

360 件の回答（質問 4）



#### その他意見 65 件の回答

- ・学校集落の特性で、養護学校に行かずに住んでいる子どもがいると思う。
- ・ようやく一歩進み出した感をもっている。以前（中学子ども育て時代）から、中学校統合した方が良いと思っていた。中学時代の多感な子ども達の成長のため、是非統合を進めてほしい。
- ・統合するのであれば、バスの送迎などがあれば賛成です。
- ・荒波地区を統一し、小中学校を設立する。
- ・近くに学校がないと、子どもがいる人が住みにくくなる。
- ・小さい方が、学力はすぐ身につく。家庭教師だから。
- ・移住者であるし、70代、子どもたちの様子、地域の方の様子はよくわかりませんが、昔から学校は地域の「核」大事な場所だと思います。できれば老若男女の思い出も含めて、残す方法がとれないか？と思います。保育・教育・介護施設が合体するような地域施設ができれば、「大きな家族」となり、島言葉や伝統行事の継承など可能なのではないかと思います。

- ・赤徳小中と龍南中に統廃合、秋名、円からは少し遠くなりますが子供達は大変ですが頑張っ  
てほしいです。
- ・荒波の学校を残してください。
- ・フリースクール的な教育体制の見直しが必要な時期にきてると思います
- ・小学校も合わせて義務教育学校も選択枠に入れてもいいのではないかな。今後 10 年の児童生  
徒数推移の見通しが知りたい。県内他の合併校地域の情報も知りたい。大規模・小規模を1枚  
ずつ残して選択制にするのも良いと思う。児童生徒のニーズに合わせた教育ができるのではに  
か。
- ・中学校だけでなく小学校も早急に統廃合するべき。少人数、複式学級等では子供がかわいそ  
う
- ・龍北中跡地に円小学校と秋名小を統合して龍北小学校をつくる
- ・校区ごとに事情も変わってくるので一概に賛成・反対で答えれるものではないです
- ・人数が増えて生徒たちの勉学などへの競争心を持たせた方がよい
- ・伝統の継承を重んじるためたとえ一人でも続けることを使命だと考えます
- ・子どもたちの意見も十分に尊重することを強く望む
- ・現在孫も県外なのでピンと来ないです。すみません。
- ・中学校の統廃合を早急に進めて教育環境の質を高めてほしいと思います。
- ・統廃合には賛成だが中学生の通学に配慮が必要(スクールバスなど)
- ・生徒の教育環境の更なる向上と学校規模の適正化を願っています。
- ・賛成だが生徒や保護者が通いやすい環境を整えた上で統廃合してほしい
- ・統廃合は賛成であるが通学バスが必要である
- ・なつかしい母校はそのままにしてほしい。数が少なければいろんな工夫空き家対策、アイター  
ン、Uターン子どものいるひとにだけ助成金とか
- ・中学校が廃校になると集落の活気がなくなるので統廃合に反対です
- ・中学校に関するアンケートですが、円小・秋名小を一つにしてもよいのではないかなと思う。安木  
屋場、円、嘉渡、秋名で小中の併設校を1校つくるのもよいのではないかな
- ・りゅうがく館をもっと有効活用して頂けたら嬉しいです。空いている部屋の有効活用、才能を  
伸ばせる様なスペース運用、使用。子どもの押さえつけない活々とした事由なスペース
- ・スクールバスの確保(朝1回、夕方2回→下校時間。部活動終了後)
- ・ほとんどの子供が高校卒業後、島外へでることを考えれば中学校から多少人数の多いところ  
で個性を伸ばし勉強した方がよいと思います。ぜひ、くまなくスクールバスをご手配いただき  
たいです。(特に登下校時間の集落のバスの運行を希望します)
- ・親の負担も考えられるが質の高い教育を提供するには大賛成である。将来のある子供たちに  
1人1人が主役である、開かれた学校にして頂きたい
- ・早く進めてもらいたい

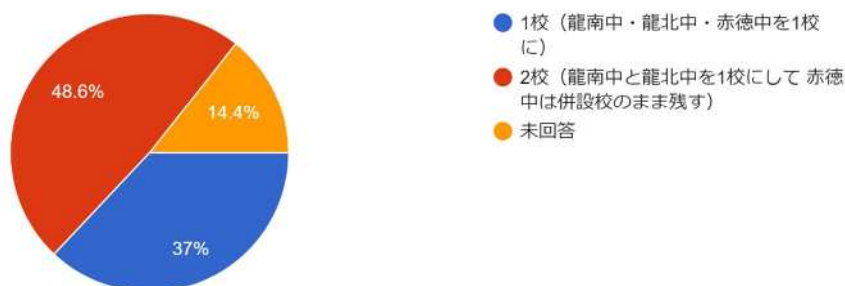
- ・人は切磋琢磨してこそ成長するものです。少人数では子供たちの勉学、体力の成長にはならない。多人数の学校と比較検討されたい、子供たちのために！これからはAIの時代です。
- ・生徒の人数を確保する為には統廃合はやむを得ないと思う。その場合スクールバス等を利用できるように生徒さんの利便性を図ることが大切。現時点でどのくらいの人数が不足している等の判断のもとになる資料があればより判断しやすいと思います。
- ・龍北中と秋名小を併合して存続できないか？
- ・半分半分に分けたり希望を取ったりしたら良いと思う 龍北を空にしたとして、そこに日本、外国から留学生を受け入れてインターナショナルスクールみたいなグローバル学校にしたら良いと思う
- ・人数が多い所にどうしても移動するしかないように考えられがちだが、地域を分別出来ないものか？龍北中学校はまだまだ使えます。荒波地区だけでなく龍郷や瀬留在中の生徒を龍北中へ登校してもらえないのか？今までのあたりまえを新しく考えることができないのかと思う。
- ・一定人数が必要であるが、通学の在り方がとても問題ではないでしょうか(本人、父兄の負担が大きい)
- ・一定の人数が必要なのはわかるが、赤徳小中のように、小中での体制を無理やり分ける必要があるか疑問です。
- ・自分の母校が無くなるのは淋しい
- ・統廃合する場合、スクールバス導入があった方がよいと思います。
- ・私達、親子が通っていた母校が廃校になるのは、本当に残念に思う。名瀬と秋名間にトンネルを開通して、スクールバスで生徒を送迎するようにしてはどうかと思います。町外だから難しいと思うが。
- ・人数が多くなることで、子どもたちの多岐にわたる関わり方、選択肢が増える。
- ・子どもたちの通学が大変になる。
- ・統廃合をいう前にやるべきことがある。同じ町内に一方は活性化があり、一方は非活性化。名瀬と接しているのだから早くトンネルを作るべきである。
- ・生徒のためになるなら、統廃合した方がよいと思う。生徒にアンケートを取ったらいいじゃないですか。
- ・スクールバスを用意して、小中併設校を将来を見据えて、考える(小学校の統廃合)
- ・少ない人数で、自分に合わない教師、生徒が出た場合、逃げ場がない、相談できる対象が良い。相談できる対象が多い方が良い。クラブ活動に限られ気の毒である。一人の教師が複数教科を持つのは賛成しかねる。
- ・もし統合になったら、遠い地域の子どもがひとりであっても送迎が可能か？部活動が終わるまで待って、送迎できるのか。1つの案として、他の市町村からの留学生を募集する方法や都会からの移住者を募集するのもいいのではないか？
- ・結婚していますが、まだ子どもがいないのでよくわかりません。
- ・龍北中学校の統廃合も統合として考える

- ・近くに学校がなくなると人が定住しようという気がなくなり、地区の発展につながらない
- ・自分の住む、又は近くの集落に中学校(小学校)があることは、子どもたちの集落に対する愛着度を高め、奄美の宝である環境文化を子ども達に引き継いで行くための重要な要素だと思います。学校があればこそ集落は活気が出ますしUターンやIターンの居住地選定の大事な条件の一つだと思います。しかしながら少人数はマンツーマン教育的な利点がある反面、狭い世界ゆえの弊害もあろうかと思われます。特に後者の影響を防ぐことが大事と考え、また、中学校が多少遠くても町内ですからシマへの愛着を保つことはできると思いますので(ア)を選択した。
- ・秋名小学校と龍北中学校の統合もよいのでは。
- ・中学校がなくなるととてもさびしく感じるけど子供達の事を思えばしかたがないのではと思う。
- ・秋名小、円小、龍北中を一つにし、小中学校とする。場所としては現龍北中の場所になるかなと考えます。
- ・統廃合だけが選択肢ではないかと。少人数の所の方がよく理解できて集中できる子もいるだろうし、高校のように子供たちに行きたい中学校を選ばせるのも良いと思う。そのためには事前に学校の見学や体験などを通して校風なども知ってもらって。
- ・荒波地区の活性化にならない。生徒を増やす努力、工夫が必要だと思います。
- ・少子化問題でやむを得ない場合は統廃合も仕方がないかもしれないが、なるべくなら子供のために母校を残してやりたい
- ・1 学年複数学級を可能にし、より大きい集団の中で学んでもらいたい。現状赤徳小中へ入学させたいと思わないため、ぜひ統廃合を検討していただきたい。
- ・まず始めに「中学生の成長・発達に一定の人数が必要というのである」という前提に疑問があります。それは5年程前に龍北中と赤徳小中学校の文化祭、学習発表会を見る機会がありました。赤徳小中学校は、小学1年生から中学3年生までが一緒に学校行事に参加し、どの学年の発表もすばらしく、また、縦のつながりの中で得る学びは、現代においてとても貴重なものだと感じました。龍北中学校は、当時5.6名の生徒数でしたが、展示物から1人1人に丁寧な教育がされている事を感じたと共に発表も先生たちも参加して皆で知恵を出し合った様子がみてとれました。どちらもすばらしく、その時の私は人数の多さではないのだとおかれた場所でどう物事をとらえ、どう生きるのか！が大切だと教えられました。学校行事はその地域ととても深いつながりがあり奄美の町村の地域性を作っていると思います。又、過疎化の進む地域に学校がなくなってしまうと過疎を加速させてしまう事も考えられ危惧してしまいます。町は今以上に荒場の活性化に尽力していただき、それでもやむを得ない時が来た場合は廃校、統廃合というのが考えもいたしかたないと思いますが、それぞれの学校がかかえる問題をユニークなアイディア、斬新な考えで創意工夫してそこに関わる大人も人的環境でするので子ども達の教育、人的環境をどう充実させていくのか？そこに目を向けて行く事がまずは重要ではないかと今回のアンケートを通して思いました。長くなってしまいました。ありがとうございます。

- ・子供達を中心に考えれば統廃合の必要はない。小規模校では補充指導や個別指導などきめ細かな指導を行いやすい地域住民と連携して教育ができるメリットがあり子供たちもそのような環境で教育を受ける選択肢が必要である
- ・統廃合する場合は、学校の名前は新しくして、自分の母校だけが廃止、吸収されたと思わないように支えて欲しい。・仮に廃止になった学校はワーケーションやスポーツ合宿、地域への開発など活用を考えて欲しい
- ・少なくとも部活や授業の統合が望ましいです。これだけ隣接した地域の自治体で住む場所によって選択枠が極端に限られてしまうのはむしろ荒波地区に住みたい人のハードルを上げてしまうと思います。
- ・子ども達が多ければ授業や部活のメリットはある。ただ地元で学校がなくなるのはシマの活気がなくなってさびしい。自分の子供はへき地で少数でやはり統廃合は何度も議題となっていたがそのまま存続している。自分の子供は 3～4 名で 1 クラス運動会は小中保育園も一緒に校区内の集落対抗でもあって良い思い出が残っている。
- ・中学校の統廃合よりも、学校を越えて部活動ができるようにしてほしい。人数が少ない学校は、部活の選択肢が少ないので、できなくて転校する子もいるため。

統廃合する場合、1校にした方がいいのか、2校にしたほうがいいのか（質問 5）

362 件の回答



その他意見 10 件の回答

- ・赤徳は、保育所から中学校まで 15 年間一緒に保育所、学校生活を過ごす。仲の悪い子とも 15 年過ごすことになれば苦行そのもの。昔とは違い、児童生徒が減少している中、部活動でも選択肢もない。子どもたちが可哀想です。大和村のように一校が良い
- ・生徒の人数がわからないのでどちらがいいか良く分からない
- ・（龍南中と赤徳中を 1 校にして龍北中は残す）も検討してほしい
- ・少人数校にも利点があるの理解できますが、将来性を考えると統合した方が子供たちにとって利点が多いと考える。
- ・校区が淋しくなる



- ・親や周辺の住人、小学校中学校がある村の人々のことを考えると、多くの意見があり、まとまらないと思います。子ども達のこれからを考えると、賛成です。
- ・貴会のご判断におゆだね致します。
- ・現在の学校ありきでなく生徒数割合で新しく構築してもよいのでは。学校が無くなって、集落が・無くなった話は聞かない。寂れるかは、集落住民や行政の問題ではないか。
- ・龍北小中学校の統合も考える
- ・赤徳中は分かりませんが龍北中はどこかに連携すべきだと思います。

もし、将来、子どもたちが通学している中学校が統廃合されたら、あなたはどうしますか？

366 件の回答 (質問 6)

